

音楽のおくりもの **information**

Spire_M

P.2 私の合唱指導法

仙台市立富沢中学校教諭 馬目 佳代子

P.8 楽しいスピーカークラフトの ススメ 編集部

日曜大工でできる!
高音質!





私の合唱指導法

仙台市立富沢中学校教諭
馬目 佳代子



はじめに ♪♪♪

皆様、はじめまして。

私は読者の先生方と同じく、日々の授業や部活動での音楽を通して、生徒とともに活動しています。

昨年度に、私は富沢中学校へ着任しました。現任校での取り組みは、まだまだ形になっておりませんので、本稿では、前任校である仙台市立第一中学校での経験を中心に、授業での合唱指導・校内合唱コンクールの取り組み、合唱部の指導、そして海外での演奏について、ご紹介したいと思います。

仙台市立第一中学校は、仙台市のほぼ中心部に位置しています。南に広瀬川を臨み、国宝大崎八幡宮に隣接した高台にある校舎の屋上からは市街地を一望でき、はるかに太平洋を見渡すことができます。学区は藩政時代からの商店街と古くからの閑静な地区、新興住宅地からなっています。歴史的な名所旧跡や美しい自然に恵まれた文教地区です。生徒は落ち着いた雰囲気でも過ごし、学習意欲は高く、音楽に対する関心も旺盛です。

1. 授業での合唱指導 ♪♪♪

(1) 指導方法と内容

- ① 学年を問わず、まず授業の始めにすることは、「あいさつ」です。「起立、注目、礼」がきちんとできる、それも前後左右のひと、気持ちを揃えて礼をすることを意識させます。礼も合わないようでは、声を合わせて合唱することはできないと思いますので、かなりしつこく要求します。音楽室に入る時も、出る時もそれぞれが「お願いします」「おはようございます」「ありがとうございました」など、元氣よくあいさつをしています。
- ② 次に、「トレーニング」を行います。内容は（私の勝手なネーミングです）息はき・ろうそく消し・目トレ・ペタトレ・ビルトレ・30秒の6種類です。生徒は休憩時間内にこのトレーニングを終わらせることになっています。定時着席を守らせる目的もあります。

息はき	体を90度前に倒して息を思い切り吐きます。その時、お腹だけでなく背中 の筋肉も動くことを感じさせます。歌う時はこの筋肉を使うように意識させます。
ろうそく消し	人差し指をろうそくに見立て、爪に息をあてます。腹筋を鍛えます。
目トレ・ペタトレ・ ビルトレ	顔の筋肉をほぐす練習です。 ○目トレ…眉を上へ引き上げます。 ○ペタトレ…頬っぺたをぐっと上げます。 ○ビルトレ…「ウ」の発音で唇を前に突き出し、「イ」の発音で唇を横に引 張ります。
30秒	息を静かに細く吐きます。（最低30秒は続くように）息は揺れないように、最 後はきれいにフェードアウトするように気をつけさせます。

トレーニング終了後、全員で「校歌」を歌います。授業では発声練習はしないので、その代わりにしています。1年生は斉唱で、2・3年生は合唱で歌います。伴奏はいれません。最近は校歌を全校生徒で歌う機会が減ってきているので、意識的に歌わせています。

- ③ こんなことをしばらくやらせていると、自然に生徒たちの声が出てくるようになります。姿勢は常に意識させますが、発声や音程など細かいことは二の次です。1年生の前半などは、音程がかなり合わなくても大目に見ています。まずは、思い切り声を出すことにこだわります。そのため、歌わない生徒はほとんどいなかったような気がします（私の思い込みかもしれませんが）。

ただし、1年生の歌声は他の学校に比べるとちょっと…ということもあります。でも、1年生の後半からは、少しずつ中身に迫っていきます。いつまでも、元気のよさだけでは音楽になりませんから。

- ④ 音楽的な面での指導では、言葉を大切にしてお歌わせることを心がけています。まず、詩を理解させた上で、何回も朗読させます。言葉の抑揚に合わせた歌い方をするようにということを、何回も言っています。意識できるようになると、フレーズの終わりの処理や語尾の歌い方が丁寧にできるようになってきます。そうすると、音楽に幅が出てくるようになります。また、各パートや全体の響きを聴きながら歌わせています。互いに聴き合って歌うことで、統一感のある響きができあがってきます。授業の合唱でそこまで要求しなくてもいいのかもしれませんが、後の「部活動」にも関係してくるので、私の場合はそこまでやらせていました。



(2) 校内合唱コンクールの取り組み

- ① 仙台市内の中学校のほとんどは、7月初旬～中旬（夏休み前）に校内合唱コンクールを行います。6月の中間考査が終わると、合唱強化期間に入ります。強化期間といっても2週間ほどしかありませんので、それまでの授業で、課題曲と自由曲の音取りは終わらせておきます。

最近では、パート別のCDが出ているので、生徒たちは難しい曲にも取り組むようになりましたが、授業ではできるだけCDに頼らず、オルガンで音取りを進めるようにしています。CDは全体像や雰囲気をつかむためにのみ使用させます。前任校ではありませんが、以前、音取りのできる生徒がいなかった時に、CDで全ての音取りを行ったことがありました。3パートで合わせた時の音は、とんでもない音でした。あれは間違いなく、CDに頼りすぎた最悪の結果でした。

また、パート練習後合わせる時には、ぎりぎりまでピアノ伴奏は入れずに、無伴奏で歌わせます。その方が、他のパートの音もよく聴くことができるようです。よく聴いて合わせることを意識できるようになってから、ピアノ伴奏を入れます。伴奏担当の生徒は、その間一緒に歌っています。歌のタイミングがわかれば、呼吸も合わせやすいし、同じ気持ちで弾いてくれるものと考えています。

- ② 校内合唱コンクールを成功させるためには、音楽科だけの力ではどうにもなりません。やはり、学級担任の力が必要です。ただ、学級担任の中には「合唱が大好き」「合唱コンクールには自信がある」という人もいれば、「合唱は苦手」「どう指導したらよいかわからない」という人もいます。そんな先生方に、なんとか気持ちよく合唱コンクール当日を迎えてもらうために、強化期間には、まんべんなく各学級の指導にまわったり、合唱のポイント等をメモした「合唱通信」を出したりしました。また、「音楽室はいつでもオープン」として、授業中は誰が入ってきて見ても構わないことにしています。担任の空き時間に、たまたま自分の学級の音楽があれば、一緒に見てもらってもいいですし、他の学級の様子を偵察に来てもらっても構いません。そんなことをしながら、少しずつ盛り上げていければと思っています。

2. 合唱部の指導 ♪♪♪

- ① 合唱部は部活動ですから、基本的に歌うことが好きな生徒が集まっています。授業と違うところは、そこです。最初からやる気があるわけですから、何をやってもスムーズです。そして、毎年生徒の目標の中に、コンクールで結果を出したい、東北大会や全国大会に出たいということも必ず入ってきます。

その生徒たちに言っていることは、結果を出したければ「あたりまえのことをあたりまえにやる」ということです。普段の学校生活をきちんと行うこと、例えば、「遅刻をしない」「掃除や当番はさぼらない」「学習には真面目に取り組む」などです。普段の生活が音楽に表れてきます。また、しっかりと生活していなければ、いくら結果を出しても周りからは喜んでもらえませんから。



- ② 練習は授業で指導していることと、ほとんど変わりはありません。違うところは、できるまで練習するところでしょうか。よく「褒めて伸ばす」と言いますが、私は生徒から「先生はめったに褒めない。」と言われます。そんな時は「できていないものを褒められてもうれしくないでしょう。」などと言っていますが、とにかくしつこく練習しています。

やった分だけ返ってくるもので、繰り返し音程などを直した後にきれいなハーモニーが鳴ると、歌っている生徒も満足した表情になります。合唱を聴いて、ぞくぞくするような感覚になれるのも部活動ならではのことでしょう。

- ③ 第一中学校へ着任した年の部員数は2年生が3名、3年生が3名で、1年生は一人も入りませんでした。それまでの学校では、部員が30名は常にいるのがあたりまえでしたので、大変なところに来てしまったと思いました。

部員たちは、他の生徒（有志）の協力を得て人数を増やし、コンクールに参加したいと言うので、全校生徒に呼びかけましたが、人は集まりませんでした。「夏休みは塾があるので…」「親が勉強意外の余計なことはしなくていいと言うから…」など、とにかく厳しい現状でした。その年は、結局コンクールには参加せず、文化祭等校内での発表にとどまりました。

部員を集めるには、とにかく結果を出さなければと考え、その年の冬のアンサンブルコンテストを目指して練習しました。結果は金賞でした。それが影響したのかはわかりませんが、2年目は部員を含めて21名になり、コンクールにも出場することができました。しかし、東北大会には進むことはできませんでした。にわか仕立ての合唱団では他校にたちうちできるはずがありません。この結果から、部員の少ない合唱部が有志生徒の力を

借りて大会に出るには、日頃の授業で生徒たちの歌声を作っていく必要があると感じました。常に授業で声の響きや歌い方を追求していれば、有志合唱団として入ってきた生徒も、スムーズに合唱部の練習に合流できるはずです。

3年目は、その取り組みが良かったのか、全日本合唱コンクール東北支部大会に進みました。人数も33名になりました。コンクールだけが部活動ではありません。地域の行事・お祭りなどでも歌います。また、仙台には「楽天イーグルス」という野球団があり、ホームの試合では「国歌斉唱」のセレモニーを行います。そこ



で毎年1回は歌い、野球を観戦して楽しんだりしています。表現は悪いかもしれませんが、「歌うと良いことがあるよ」と宣伝をしながら、人集めを行いました。

4年目は38名。この頃になると、保護者の様子も少し変化が見られるようになりました。合唱団の活動を行うことに、理解を示してくれる保護者が増えてきたのです。生徒たちの意識も変化し、合唱をすることに誇りを持つ生徒が多くなってきました。5年目は43名になり、6年目と7年目は46名で、全日本合唱コンクール全国大会に出場するまでになりました。

- ④ ここまでになるには、生徒の努力はもちろんですが、学校の先生方の協力も忘れてはならないものです。合唱団員募集の時期になると、学級でたくさん呼びかけて頂いたり、演奏を聴きにきて頂いたり、とにかく応援して頂きました。今でもたいへん感謝しています。

先生方の協力を得るには、日常の業務をきちんと行うことだと私は思います。自分のことだけ、部活動だけやっていたのでは信頼は得られません。日頃の付き合いも大切ですね。

3. 海外での演奏体験

- ① ポルトガル（ギマランエス）へ

2012年（平成24年）10月、ポルトガルのギマランエスで開催された「第9回国際青少年音楽祭」に招かれました。なぜ出演することになったのか。2011年（平成23年）3月、東日本大震災で仙台市も甚大な被害を受けました。その時の各国からの

支援に対する感謝を音楽で伝えるという趣旨で、仙台市の三つの合唱団が招待され、第一中学校合唱団もその中に入れて頂いたというわけです。

声をかけてくださったのは「EU・ジャパンフェスト日本委員会」で、6月にエストニアの合唱指揮者のレッスン、7月には校内合唱コンクールに「ベルギー王立カンターテ・ドミノ合唱団」のゲスト出演など、たくさんの支援を頂きました。

参加した生徒は25名。4月に合唱団員に呼びかけて集まった人数です。当初、経費もかかることなので、はたして合唱ができるくらい的人数が集まるのか、不安の中での呼びかけでした。ところが、保護者の反応は良く、すぐにメンバーが集まりました。これには、私もびっくりでしたが、校長先生も驚いていました。あの時の保護者の理解と協力には本当に感謝しています。

- ② 10月のギマランエスの気候は穏やかで、まさに合唱日和といったところでした。ギマランエスはポルトガル発祥の地と呼ばれ、旧市街地（歴史地区）は世界遺産に登録されています。町並みも歴史を感じさせる閑静な佇まいでした。人々は町を挙げて私たちを歓迎してくれ、滞在中はいつも笑顔で接してくれましたので、タイトなスケジュールでしたが、気持ちよく過ごすことができました。



③ 演奏

到着した日の夜に、あの三大テノールの一人ホセ・カレーラスとの共演がありました。会場のアリーナに着くとすぐに練習開始。その後、オーケストラとリハーサル。軽い夕食の後に本番。5千人収容のアリーナはほぼ満席。ホセ・カレーラスと同じステージに上がるだけでも緊張するのに、さらにオーケスト





ラの伴奏で歌うなど、中学生にとっては初体験づくしでした。会場いっぱいに広がる歌声、コンサートは聴衆を心地よい世界へと運んでくれました。アンコールが終わっても観客は席を立たず、さらにアンコールが続き、コンサートが終了したのは午前0時でした。帰りのバスでは眠気もなんのその、口々に感動を伝え合っていました。

次の日は、「国際青少年音楽祭」での演奏です。午前中に市庁舎を訪問し演奏を行い、その後音楽祭の会場であるサンフランシスコ教会へ向かいました。扉を開けて中へ入ると、そこは厳かな空間が広がっていました。これからここで歌うのかと思うと、緊張が走りました。



日本語の歌がどれだけ受け入れられるのか、どのくらいの人聴きにしてくれるのか、不安もよぎりました。しかし、開場とともに教会にはたくさんの方が来場し、溢れんばかりになっていました。私たちは4曲演奏しましたが、普段体験することのできない響きを体感し、幸せな気持ちで歌うことができました。さらに聴衆の皆様から温かい拍手を頂き、音楽に国境はないことも実感しました。



3日目は、学校を訪問してのコンサートでした。幼稚園児から中学生ぐらいの子どもたちが学んでいましたが、最後まで聴いて頂きました。中には、手話をまねしながら聴いている子どもや、自然に体を動かしている子どもがいたりして、教会での演奏とはまたひと味違う、ほっとする雰囲気でのコンサートになりました。最後は記念撮影や日本から持参したプレゼントを手渡すなど、短い時間でしたが交流を楽しむこともできました。



- ④ 1学期と2学期の間のわずか5日間の休みを利用して訪れ、滞在期間は3日間という強行スケジュールだった私たちの慌しさとは関係なく、ギマランエスの時間の流れはゆったりとしたものでした。できることならもう1週間ぐらい滞在したい、帰りたくないと思ってしまうほどでした。学校生活では決してできないこの貴重な体験は14、15歳の心を成長させたものと感じています。



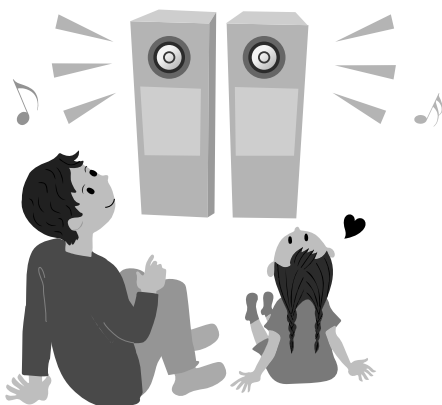
おわりに ♪♪♪

以上、前任校での取り組みや体験をまとめてみました。拙い内容で、先生方の参考にはならないかもしれませんが。私も本稿をまとめながら、まだまだやらなければならないことがたくさんあると感じました。現任校に着任して2年目になりますが、合唱部員は昨年が3年生1名、今年は1年生が2名しかいません。有志生徒も集まらず、前任校1年目よりも厳しい状況にあります。とても音楽を楽しむような環境にあるとは言えないかもしれません。しかし、生徒たちに音楽の良さや、合唱の楽しさ・美しさを伝えるには、時間をかけて少しずつ積み上げていくしかありません。在任中に、どれだけのことができるのかはわかりませんが、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいきたいと思っています。

楽しい

スピーカークラフト の ススメ

作・構成 編集部



筆者の自宅には、25年前に自作したスピーカーがあります。ラワンの合板をノコギリで切って箱を組み立て、10cmのフルレンジスピーカーユニットをはめ込んだ簡単なものですが、初めて手づくりしたスピーカーからは、予想を超えた良い音が出てきて驚いたものでした。それから長い間、直射日光や子どものいたずらにも耐えながら、タフに音楽を鳴らしてきたそのスピーカーは、ついに昨夏故障し、音が出なくなってしまいました。

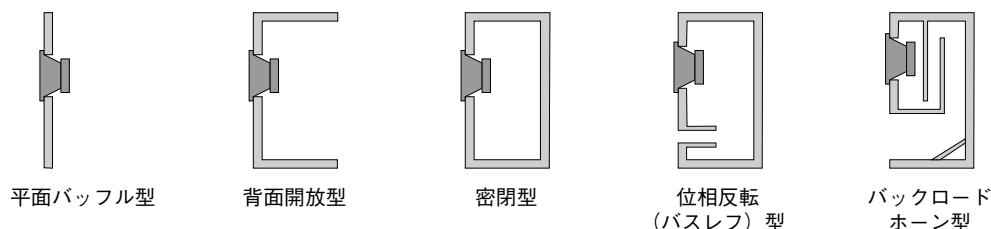


さて、どうしたものか…。スピーカーユニットを交換するだけで簡単に再生することも可能です。しかし、愛着もある一方で、自作スピーカーの第一号機であり、木工も得意ではないので形は不恰好。おまけに古くなって汚れや変色も目立ち、家族には不評です。そんなある日、図書館で様々な自作用スピーカーの設計図が掲載されている本を見つけ、それをパラパラとめくっているうちに、新しいスピーカーを作ってみたくくなりました。

自作一号機のエンクロージャー（スピーカーユニットを入れる箱）は、初心者ということもあり、バスレフ型と呼ばれる、大変シンプルな構造のものでした。今回はちょっと凝ったものにしたいと考え、自作スピーカーの専門書で調べてみました。

スピーカーのエンクロージャーは、平面バッフル型、後面開放型、密閉型、位相反転（バスレフ）型、バックロードホーン型など、いくつもの種類があるようです。密閉型やバスレフ型は市販のスピーカーでよく見る形ですが、バックロードホーン型というのはあまり見かけません。なんでも、スピーカーユニットの裏側から出る主に低音を、長いホーンで増強させる仕組みになっているとか。これは面白そう。内部構造が少し複雑ですが、その分、作り甲斐は大いにありそうです。ということで、今回はバックロードホーン型を作ることに決めました。

エンクロージャーの例



◎ パーツの購入

材料は、次のものを購入しました。工具はノコギリ、金槌、半田ごてなどを使いました。

オーディオ専門店で

- スピーカーユニット×2
- ケーブル ● 吸音材 (フェルト)
- ターミナル

ホームセンターで

- ラワン合板 (910mm × 1820mm × 15mm) × 3 枚
- 木工用ボンド (500ml 入り) ● 釘 ● サンドペーパー
- ヤスリ ● ニス ● 刷毛

さて、まずはスピーカーユニット探しです。東京の秋葉原にあるスピーカーの専門店、コイズミ無線さんへ相談に行きました。秋葉原駅に程近い店内に入ると写真の通り、スピーカーユニットやパーツが所狭しと並んでいます。価格もお手頃なものから高級品まで幅が広く、迷ってしまいそうです。しかし、心配は無用。ご自身もスピーカー製作の経験が豊富な店員さんが、用途や予算などの希望に合わせて、パーツ選びを一緒に手伝ってくれました。スピーカーユニットは、筆者の好みで fostex のバックロードホーン用フルレンジユニット FE108E Σ を選びました。スピーカーをアンプにつなぐためのケーブルも価格の幅が広いですが、使用するアンプとのバランスも考え、中くらいのものにしました。その他、ターミナル（スピーカーをアンプにつなぐためのパーツ）や吸音材（フェルト）も、店員さんおすすめのものを購入しました。

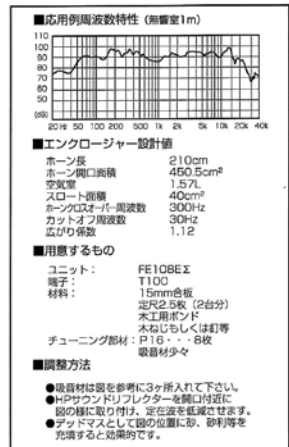
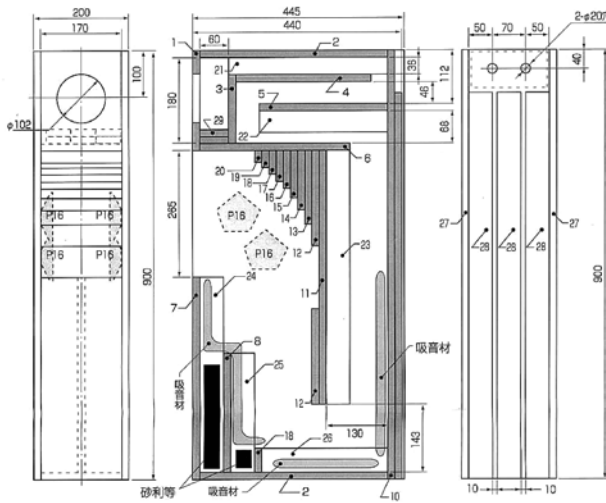


次に、エンクロージャー用の板の購入です。近所にある大型のホームセンターをのぞいてみると…ありました、陳列棚にいろいろな材質の合板が並んでいます。筆者は値段が安く、加工もしやすいなどの理由で、ラワンの合板を購入しました。スピーカー2台の製作で、サブロク（3尺×6尺）と呼ばれる大きさの板を2枚半使います。スピーカーは左右に並べて使うものなので、木目や色が左右で合っている方が見た目もよいですね。木の色や木目が比較的近いものを選んで購入しました。

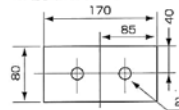
筆者がお世話になったホームセンターでは、木材加工サービスがありました。スピーカーユニットの説明書には、おすすめのエンクロージャーの設計図（p.10 参照）が付いています。これをもとに、木材加工の担当の方と相談して、各部品に加工してもらいました。今回作ったエンクロージャーは、部品点数が多い（80点！）ので、カットするのも、それなりに時間がかかりました。カットが終わってから、

各部品がサイズ通りに仕上がっているかの確認作業がありましたが、想像していたより誤差は少なかった（1mm 以下でした！）です。昔に作った自作一号機的时候は、自宅で電動ノコギリなどを使って合板を切りましたが、直角や直線を正確に切るのは、とても難しかったです。また、どうしてもサイズの誤差が出てしまい、組み立ての際には削ったり、パテで埋めたりと、大変苦勞したことを記憶しています。それに比べると、今回は大幅に手間や時間が節約でき、以前より工作が手軽なものになったと感じました。

FE108E Σ 取扱説明書より

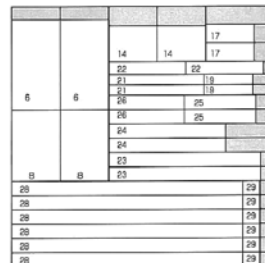
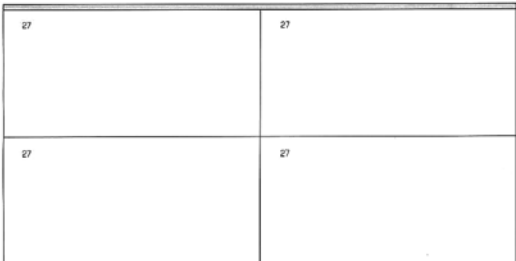


端子板9詳細図



■板寸法一覧（1台分）

番号	寸法 (W×H)	枚数	番号	寸法 (W×H)	枚数
1	170×210	1	16	170×50	1
2	170×395	2	17	170×85	1
3	170×144	1	18	170×50	2
4	170×285	1	19	170×36	1
5	170×271	1	20	170×25	1
6	170×315	1	21	335×36	1
7	170×425	1	22	271×45	1
8	170×250	1	23	532×50	1
9	170×80	1	24	410×50	1
10	170×900	1	25	250×50	1
11	170×532	1	26	265×50	1
12	170×200	2	27	900×445	2
13	170×155	1	28	810×50	3
14	170×125	1	29	60×50	6
15	170×100	1			

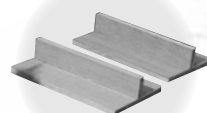
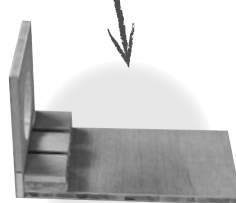
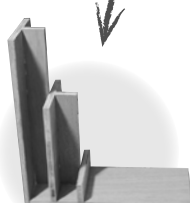
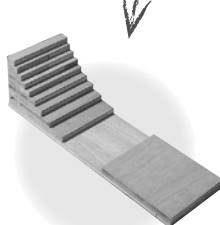
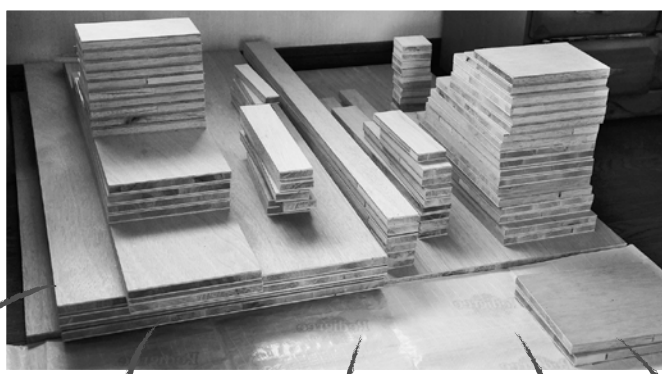


木材加工の待ち時間に、木工用ボンドや工具なども一緒に購入しました。木工用ボンドは500ml入りを「ちょっと多すぎるかな？」などと考えながら買い物かごに入れましたが、結局製作の最後では少し不足することになりました。エンクロージャーの組み立ての際、接着はボンドが主役になります。複雑な内部構造の気密性を高める目的で、ボンドを多めに塗っていくために、使う総量は予想より多くなりました。その他、釘やサンドペーパー、塗装用のニスや刷毛なども一緒に購入しました。

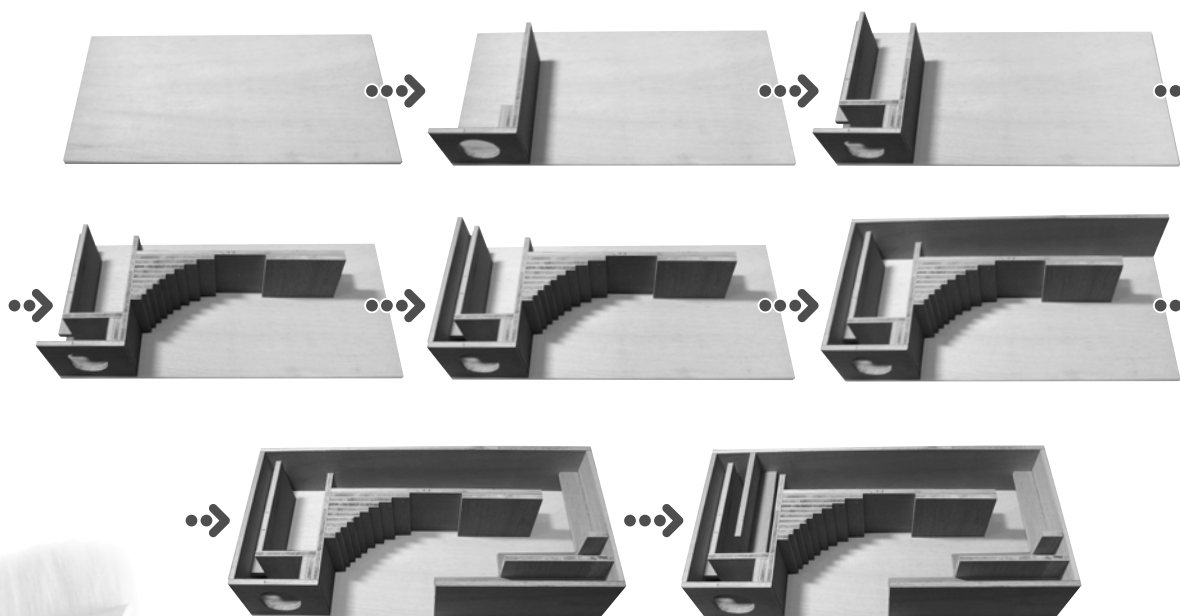


◎ 組み立て

加工してもらった部品を、説明書の手順を見ながら木工用ボンドで貼っていきます。「音道」と呼ばれるスピーカー内部の、音の通り道になる構造部を、5ブロックに分けて組み立てていきます。加工したての各部品は、ささくれが残っていたり、断面が荒れたりしています。これらをヤスリで軽く削り落としてからボンドを塗って、貼り合わせていきます。部品を間違えないように、サイズを定規で確認しながら、慎重に進めます。貼り合わせることは自体は、プラモデルの組み立てのようで意外と簡単です。ただ、接着剤を乾かす必要があるため、貼っては乾かし、また貼っては乾かし…と、時間をかけて組み立てていきます。



出来上がった内部構造の部品を、側板に貼っていきます。角を構成する部品が、側板の角とピッタリ合うように微調整しながら進めます。



吸音材を貼り付けます。



組み立てていくうちに、各部品の誤差により、角が合わなかったり、隙間が空いてしまっているところがありました。そこをヤスリで削って調整しました。



反対側の側板を貼り付けます。音道は部品が上からぶら下がる構造なので、その補強を狙って何箇所かに釘を打ちました。

◎ 塗 装

エンクロージャーの塗装は、音の向上に寄与すると言います。また、見た目も良くなるので、ニス（ニス）を塗りました。まず、エンクロージャーの表面を紙やすりで削り、表面を滑らかに。その後、〈ニス塗り～乾燥〉を二度繰り返しました。

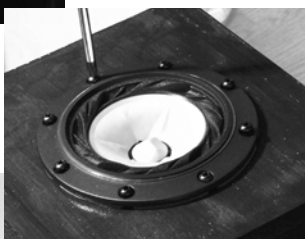


◎ スピーカーユニットとターミナルの取り付け

スピーカーユニットとターミナルをケーブルに半田付けします。その際、極性を間違えないように注意します。スピーカーユニットとターミナルをエンクロージャーに取り付け、完成です！



完成!



◎ 出来上がったスピーカーの試聴

スピーカーをケーブルでアンプに接続します。わくわくしてケーブルのプラスとマイナスの極性を間違えないように！ 完成したスピーカーは奥行きがあり、背高ノッポな姿（高さ 90cm、幅 20cm、奥行き 44.5cm）をしています。やや大型ではありますが、幅が 20cm と小さいことが幸いし、家具を横へ少々移動させてスペースをつくり、スピーカを収めることが出来ました。

さて、ようやく完成したスピーカーを、家族で試聴してみることにしました。娘の愛聴盤「白鳥の湖」（チャイコフスキー作曲）の CD を再生すると、まずは直径 10cm のスピーカーユニットから出ているとは思えないほど、スケールの大きな音が出てきたことに驚きました。高音域のヴァイオリンやオーボエ、トライアングル、シンバルや、低音域のコントラバス、大太鼓、ティンパニなどが、バランスよく豊かに響きます。「本当にこの小さなユニットから出ている音なの？」という感じです。「この CD って、こんなにいろいろな音が入っていたんだ。」というのが娘の感想。確かに、埋もれてしまいそうな細かな音まで再生され、こんな音も入っていたのだと気づかされます。例えて言うなら、霧が晴れて視界が広がったように、音の情報量が多くなった感じがしました。

エンクロージャーの製作には延べ 8 日ほどかかりましたが、木を削ったり、貼り合わせたり、組み立てたりと、木工が好きな方なら十分に楽しめること請け合いです。そして完成するとこんな素敵な音が！ 読者の皆様も、休日に楽しいスピーカークラフトをいかがですか。

取材協力：フォスター電機（株） <http://www.fostex.jp/>

コイズミ無線（有） <http://www.koizumi-musen.com/>

参考文献：「世界でただひとつ 自分だけの手作りスピーカーを作る」講談社

「長岡鉄男のオリジナル・スピーカー設計術⑤ こんなスピーカー見たことない【製作実践編】」音楽之友社

音楽鑑賞用 DVD

オーケストラ入門

Guide to the Orchestra

- ♣ 世界が注目する若きマエストロ、アラン・ギルバートのリハーサルを収録
- ♣ オーケストラの歴史や楽器の紹介等、音楽鑑賞教育授業に役立つアイテムを収録
- ♣ ライブラリアンやステージマネージャーの仕事も紹介
- ♣ 協奏曲や大編成オーケストラ等、オーケストラの魅力が満載

✧ 収録内容 ✧

◆オーケストラの歴史（約4分）

ハイドンとモーツァルト／2管編成のオーケストラ／小編成から大編成のオーケストラへ

紹介曲…交響曲第35番ニ長調 K.385「ハフナー」から（モーツァルト作曲）

◆オーケストラで使用される主な楽器（約21分）

木管楽器／金管楽器／打楽器／ハープ／弦楽器

紹介曲…交響組曲「シェエラザード」作品35第2楽章（リムスキー・コルサコフ作曲）シャルル・デュトワ指揮／NHK交響楽団

◆ステージに上がるまで（約23分）

リハーサルから本番まで

紹介曲…交響曲第3番変ホ長調作品55「英雄」第1楽章（ベートーヴェン作曲）アラン・ギルバート指揮／NHK交響楽団

◆協奏曲—ソリストと共演するオーケストラ（約12分）

紹介曲…ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18第3楽章（ラフマニノフ作曲）イム・ドンヒョク（ピアノ）／シャルル・デュトワ指揮／NHK交響楽団

◆大編成の管弦楽曲（約13分）

紹介曲…交響詩「英雄の生涯」作品40から抜粋（リヒャルト・シュトラウス作曲）シャルル・デュトワ指揮／NHK交響楽団



定価：本体 17,000 円 + (税)

全 1 巻／約 72 分／解説書（A5 変型判 12p）付

監修：池辺晋一郎（作曲家／東京音楽大学教授）

協力：NHK 交響楽団

資料協力：武蔵野音楽大学楽器博物館、音楽之友社

発行：NHK エンタープライズ

発売元：教育出版株式会社 TEL 03-3238-6908

音楽鑑賞用DVD

日本の伝統音楽

● 主な収録曲 ●

能「俊寛」
人形浄瑠璃「平家女護島」
歌舞伎「平家女護島」
長唄「京鹿子娘道成寺」
平曲「那須与一」
歌舞伎「連獅子」
人形浄瑠璃（文楽）「国性爺合戦」
江差追分
谷茶前 など約30コンテンツ収録



世界の諸民族の音楽

● 主な収録曲 ●

ゴスペル（アメリカ）
ホーミー（モンゴル）
ヨーデル（スイス）
バグパイプ（イギリス・スコットランド地方）
グリオの語りと音楽（西アフリカ）
タブラー・シタール（インド）
バラライカ（ロシア）
アルフー（中国）
カヤグム（朝鮮半島）
ケチャ（インドネシア・バリ島）
ガムラン（インドネシア・バリ島）
イヌイットの喉遊び歌（カナダ・アラスカ等）
仮面劇「コーン」（タイ） など約40コンテンツ収録

各収録時間 約70分

各本体 15,000円+税

制作

NHKエンタープライズ

発売

教育出版



第14回

地球となかよし メッセージ

作品募集 (2016年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2016年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境 や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交 流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催／教育出版 ◎協賛／日本環境教育学会
◎後援／環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
※協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね
<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

教育出版

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

前
回
入
選
作
品



受け継がれる伝統と心

私は中学校で、かるた部に所属しています。私がかかる
たを始めたのは小学校四年生の頃です。私はこのときか
ら、かるたが好きです。理由は、男女も年齢も関係なく、
平等な立場で試合に立ち向かえるからです。また、いろ
いろな年代の方と話したり、仲良くなったりできるとこ
ろも、試合をしている全員が、古くからある百人一首を
一生懸命とっている姿も私のお気に入りです。百人一首
が現在まで残っているのは、日本人が百人一首を大切に
してきたからだ、私は思います。なので、私も大好き
な百人一首をこれから先も残せていけるように、かるた
を続けていきたいです。

中学・高校音楽通信 **Spire_M** (2016年 春号) 2016年3月31日 発行

表紙写真協力：フォスター電機 (株)

編集：教育出版株式会社編集局 発行：教育出版株式会社 代表者：小林一光

印刷：大日本印刷株式会社 発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技
術の進展や国際化、情報化、高齢化によっ
て、今、大きく変わろうとしています。このよ
うな社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆ
る命がのびのびと生きていくためには、人や自
然を大切にしながら、共に生きていこうとする
優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」
というコンセプトワードに込め、社会のさまざ
まな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室 TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411